慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会(Hogaku kenkyu henshu iinkai)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1987
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.60, No.1 (1987. 1) ,p.310- 310
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	石川忠雄教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19870128-0310

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

慶應義塾長石川忠雄先生は、一九八七年三月末日、法学部教授としての定年退職の時を迎えられる。とはいえ塾長職は定年退職制度とは無関係であり、現在の任期だけをとってもなお二年余を残しているから、石川先生にはまだまだ慶應義塾で御活躍いただけるわけであり、また御活躍いただかなければならない。

慶應義塾大学法学研究会は、法学部の専任者として長年学部のために貢献された先生方が御退職になる時には、機関誌「法学研究」の一冊を「退職記念論文集」として編集し、献呈するのを慣例としている。前述のように塾長として今後も活躍される石川先生に「退職記念」という言葉はふさわしくないであろうが、慣例のゆえをもって御海容を乞う次第である。

石川先生が慶應義塾の発展にいかに貢献してこられたかについては、あらためて述べるまでもない。あれほど壮大な慶應義塾創立一二五年記念事業を計画され、成功に導かれたことは、石川先生の残された実績のほんの一部にすぎない。先生はまた法学部に対しても多大な貢献を果たしてこられたが、そのうちでもとくに、政治学科の地域研究を発展させるうえで果たされた役割は誠に大きなものであった。先生御自身は中国政治史・中国現代政治が専門であって、中国共産党史の研究では第一人者として多くの業績を残され、また多くの優秀な中国研究者を育成されたが、それにとどまらず、多くの後進を地域研究の領域に導き入れ、それとあわせて政治学科における地域研究の学科目の増設・整備に力を尽くされたのであった。こんにち本塾政治学科が日本の大学における地域研究を代表する存在たりえているのは、石川先生の御尽力があっての事である。

右のような次第で、この記念論文集には政治学科に在籍する地域研究者を中心に一〇人の法学部専任者が論文を寄せた。このほか寄稿を予定しながら健康上の理由などで果たせなかった同僚もいるが、それらの論文は、いずれ後続の「法学研究」通常号に掲載されることになろう。また法律学科の同僚からも数多くの執筆の希望が寄せられたが、前記一〇人の手になる論文だけで予定総ページ数を大幅に越えてしまったため、これに応える事ができなかった。徳田教之氏（筑波大学教授）、平松茂雄氏（防衛研究所）、の論文を収録できなかったのも、同じ理由による。御海容を賜りたい。

最後に、石川忠雄先生が今後ますます御健康で御活躍いただけるよう祈念しつつ、この記念論文集を献呈する次第である。

一九八六年一一月六日

法学研究編集委員会